



## 東京の二つの穴場

「日々の暮らしから東京へ②」

クリスマスシーズン、今やクリスマスはキリスト教に関係なく、誰もが楽しむイベントの感がある。

「丁目にある「教文館」を

年という長い歴史を持つ教文館は、明治18年にアメリカから派遣されたメソジスト教会の宣教師たちが伝道用に使う書籍などを出版する組織がその始まりと言われる。

銀座通りと松屋通りの二つの入り口がある銀座の一等地のビル。その地の利の良さを生かし、今ではキリスト教各派の出版物やクリスマス用品などが販売されている。7階建てのビルには、世界のクリスマス用品の品々が展示販売されている。



八重洲北口遺跡から

発掘されたメダイ(原寸大)



「遠山の金さん」のモデルである。北町奉行は天保の改革に反対してわずか3年で罷免される。しかし、町人の生活や娯楽などを守るために活躍する「金さん」の芝居が人気を博す。それが影響してか、南町奉行に返り咲き、7年間勤めたという。南北両方の町奉行を勤めることは異例のことだったらしい。

この遺跡では1580年から1600年ごろ(戦国時代から江戸初期)の生活用品が多く発掘された。中でもキリシタン墓地が発見され「無原罪の聖母像」のメダイが見つかった。このメダイは現在、日比谷図書文化館で展示されている。写真を掲載したが、専らだ。

さて、この八重洲北口遺跡は、北町奉行所跡の発掘調査の際に見えられたという。

北町奉行といえ、高橋英樹や松方弘樹が演じた

## 銀座の教文館



八重洲駅北口の出たところにある遊歩道